

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年10月26日(2023.10.26)

【国際公開番号】WO2022/260180

【出願番号】特願2023-527954(P2023-527954)

【国際特許分類】

C 0 9 D 2 0 1 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 9 D 1 7 5 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)

F 1 6 F 1 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

F 1 6 F 1 / 2 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 9 D 2 0 1 / 0 0

C 0 9 D 1 7 5 / 0 4

F 1 6 F 1 / 1 2 C

F 1 6 F 1 / 2 4

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月28日(2023.8.28)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬化後の硬化物の、25での引裂強さが45 kN/m以上であり、80での引裂強さが20 kN/m以上であり、25でのタイプAデュロメータ硬度が30~100である、コーティング剤。

【請求項2】

30

硬化後の硬化物が、ウレタン結合を有する硬化物である請求項1に記載のコーティング剤。

【請求項3】

(A)高分子ポリオールと、(B)芳香族イソシアネートを含むイソシアネートと、(C)鎖長延長剤と、を含む組成物、又は(D)ポリオールと芳香族イソシアネートを含むイソシアネートとが反応したプレポリマーを含む組成物からなる請求項1に記載のコーティング剤。

【請求項4】

前記(A)高分子ポリオールが、(A1)ポリカーボネート系ポリオール、(A2)ビスフェノール構造を有するポリエーテル系ポリオール、(A3)ラクトン系ポリオール、(A4)ポリエステル系ポリオール、及び(A5)ポリカーボネート系ポリオールとラクトン系ポリオールとの共重合体よりなる群から選択される少なくとも1種を含む請求項3に記載のコーティング剤。

40

【請求項5】

前記(B)芳香族イソシアネートを含むイソシアネートが、(B)芳香族イソシアネートのみからなるイソシアネートであり、

前記(D)ポリオールと芳香族イソシアネートを含むイソシアネートとが反応したプレポリマーが、(D)ポリオールと芳香族イソシアネートのみからなるイソシアネートとが反応したプレポリマーである請求項3に記載のコーティング剤。

【請求項6】

50

前記硬化後の硬化物の、前記 2 5 での引裂強さが 9 0 k N / m 以上であり、前記 8 0 での引裂強さが 4 0 k N / m 以上であり、前記 2 5 でのタイプ A デュロメータ硬度が 7 0 ~ 1 0 0 である請求項 1 に記載のコーティング剤

【請求項 7】

ばね用途である請求項 1 ~ 請求項 6 のいずれか 1 項に記載のコーティング剤。

【請求項 8】

表面の少なくとも一部に、請求項 1 ~ 請求項 6 のいずれか 1 項に記載のコーティング剤の硬化物層を有する、ばね。

10

20

30

40

50